

日韓トンネル・日韓を鉄路で結び欧州へ直結

今日まで、3人の韓国大統領と4人の日本の首相が、日韓トンネル建設、三大陸横断鉄道に言及している。日本と韓国を、佐賀県唐津と釜山間の海底トンネルで結ぶこの構想は、唐津と壱岐(海底28km)、壱岐と対馬(海底51km)、対馬と釜山(海底49km)の、海底トンネル128km、各陸路103km、総計231kmからなる。総事業費は、約10兆円(韓国政府発表)。10年から15年で建設完了。開通の暁には、東京駅から唐津駅、海底トンネルを経由して、ソウル→ピョンヤン→中国→シベリア鉄道を経由、モスクワ→ベルリン→パリ→英仏海峡トンネルを経て、ロンドン駅まで約1万5千kmを二週間で走行できる。陸路により大陸につながっているという感覚は、「島国日本」にとって21世紀の文明開化をもたらすものと確信する。

この21世紀の道は、観光・物流・芸術文化・人的交流の大動脈となり、日韓関係の増進のみならず、アジアの一体化のインフラとなり、ユーラシア、ヨーロッパとの直結を実感させるものである。

わが国は、湾岸戦争に1兆3千億を提供して支援した。国連PKOに莫大な経費をかけ、日本も20%を負担して支援してきた。世界に目を向け、一等国としての責務を果たす日本として、アジアの安定、世界平和の構築に寄与するこのプロジェクトへの投資価値は大きい。

日韓が手を携え、このプロジェクトに臨み、アジア・ユーラシア・ヨーロッパの青年たちと夢を共有したい。